

1月 外国人観光客の売上高・来店動向

平成23年2月18日

- 調査対象店舗 : 21社41店舗 (外国人観光客誘致部会委員店)
- 調査品目 : 主力商品である化粧品・食品等は、免税手続き対象外のため含まれず。

1.免税手続きベースの売上および対前年比

- ◆ 売上高総額 (41店舗) …… 17億3,375万円余 (1店舗平均:約4,229万円)
- ◆ 売上高前年比 (41店舗) …… 103.1% (店舗数調整後)

2.免税手続きベースの購買客数および対前年比

- ◆ 購買客数合計 (41店舗) …… 26,999人 (1店舗平均:659人)
- ◆ 購買客数前年比 (41店舗) …… 97.6% (店舗数調整後)

3.免税手続き一人当たりの購買単価

- ◆ 一人当たりの購買単価 (41店舗) …… 64,215円
- ◆ 一人当たりの購買単価前年比 (41店舗) ……105.6% (店舗数調整後)

4.外国人観光客に人気のあった商品

第1位 婦人服飾雑貨 (ブーツ、マフラー、帽子、ツモリチサト、ハンカチ、福袋)

第2位 婦人服 (コート、セーター、パンツ、バーバリーブルーレーベル)

第3位 化粧品 (資生堂、SKII、ファンケル、アルピオン)

第4位 ハイエンドブランド (エルメス、ルイ・ヴィトン、シャネル、プラダ)

第5位 子供服・雑貨 (ベビー服、サンリオ、玩具)

- ◆ 初売り（1月2日）の来店には、福袋目当ての外国人のお客様が多かった。（仙台、大阪）
- ◆ 1月はアジアの富裕顧客によるスイス製高級腕時計（1本で数千万円）、エルメスバッグの購入があった。（新宿、銀座）
- ◆ 免税売上には反映されていないものの、最近化粧品のアルピオンの人気の高さを感じている。（新宿、大阪）
- ◆ クリアランス期であり、アパレル・服飾の需要が増し、ブランドへの支持が高いと感じる。服飾小物では、財布に加えて、手袋、マフラー、帽子等防寒アイテムの動きが活発だった。（渋谷、名古屋）
- ◆ 和食器（箸、お茶碗）のお買い上げが多かったと感じる。（札幌、大阪）

5.免税手続きカウンターの来店国別順位

第1位： 中国本土 第2位： 台湾 第3位： 韓国 第4位： 香港

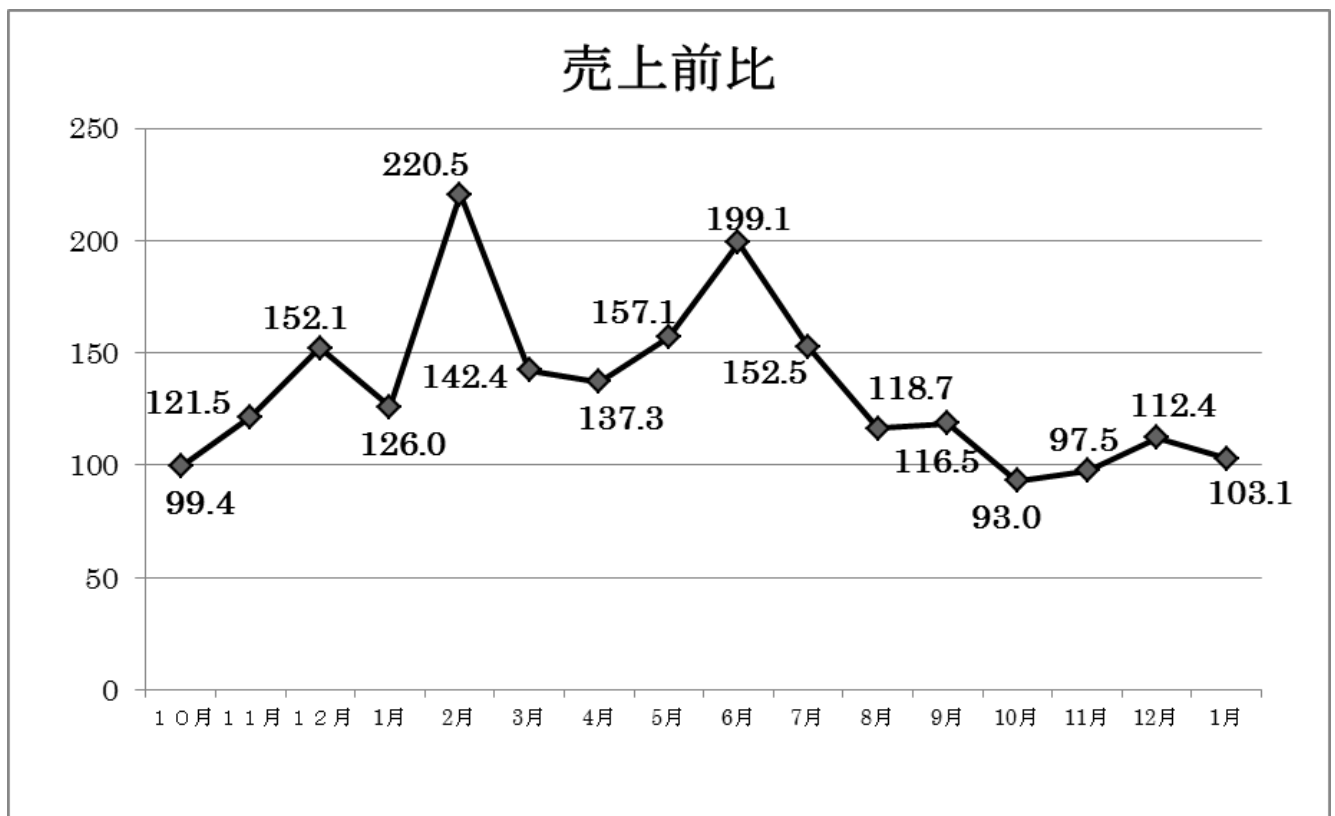
第5位： オーストラリア 第6位： シンガポール 第7位： タイ

6. 今月の概況他

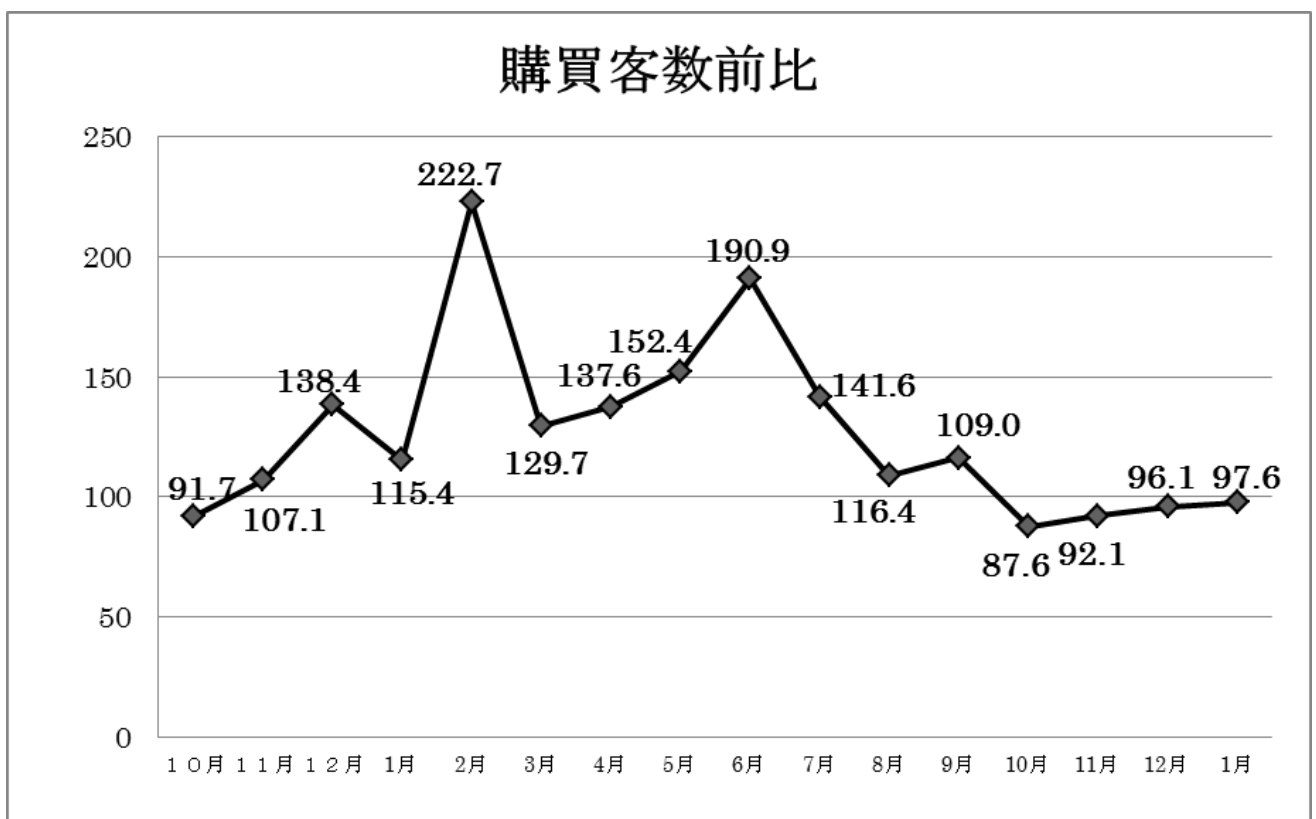
- ◆ 1月の全体売上は、2か月連続でプラスとなり41店舗中20店舗がプラスだった。
- ◆ 日本のクリアランス情報をとらえているようで、特に月前半は、アジア近隣諸国の方による、まとめ買いが目立っていた。（東京、大阪、名古屋、福岡）
- ◆ 2月3日の春節、2月7日からのさっぽろ雪まつりのため、中国語・英語の話せるコンシェルジュを2名配置した。「人気のお土産」「日本製」「北海道限定」の外国語POPを設置して、ご案内告知に力を入れている。（札幌）
- ◆ 前月と比較して、一人当たりの単価が落ちているが、クリアランスによるマークダウンが影響しているものと思われる。1月28日より、旧正月の連休に入っていることから、連日、外国人のお客様が増えていると感じる。（銀座）
- ◆ 福岡の2010年は、外国航路の乗降客が、過去最高の87万人だった。1月は、釜山の定期航路の利用も順調に回復した。（福岡）

以 上

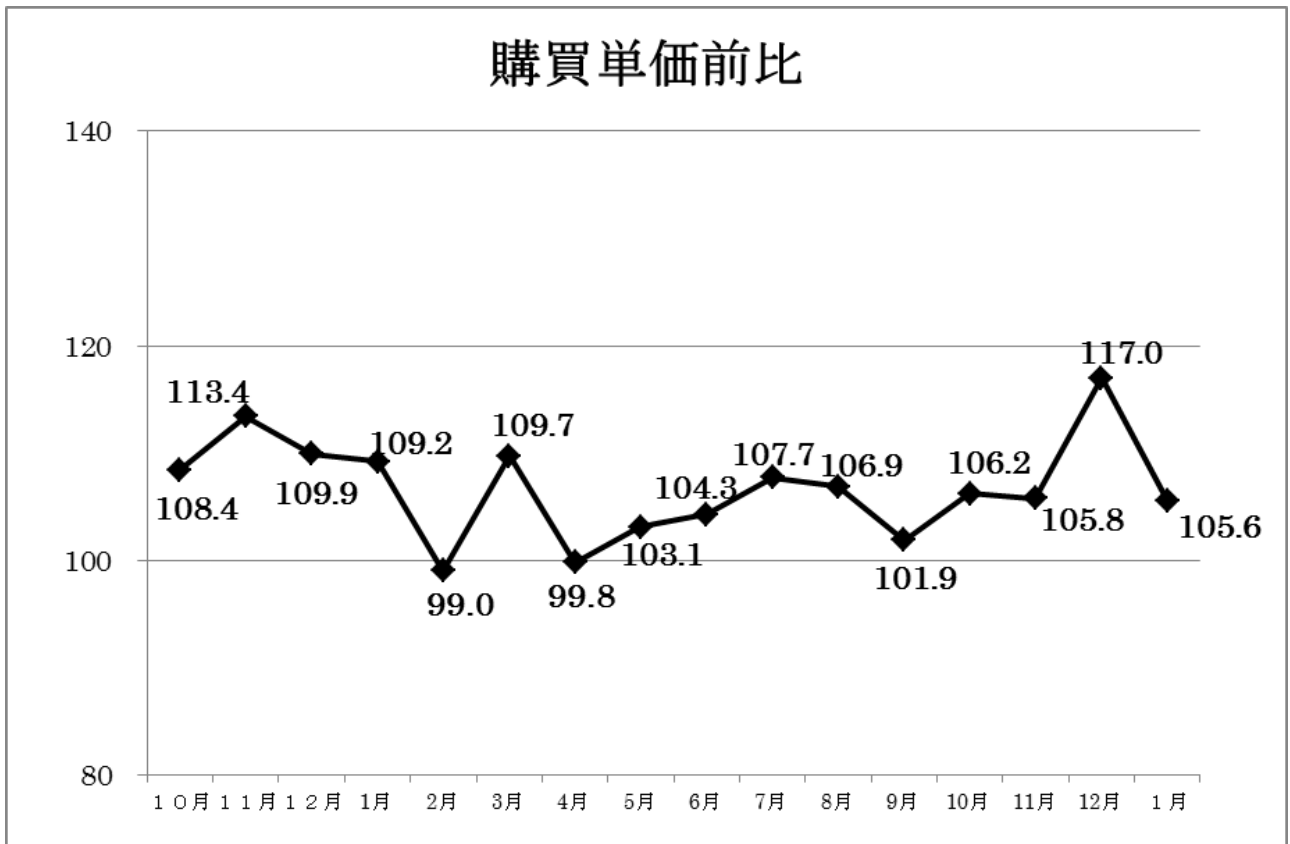
売上前年比 (%)



購買客数前年比 (%)



購買単価前年比 (%)



【お問合せ先】

日本百貨店協会・外国人観光客誘致事業担当（無断転載を禁じます）

TEL：03-3272-1666